

令和6年度 特別研修会 I

「個別最適な学び」と
「協働的な学び」の
一体的な充実に向けた

学級経営



講師 上越教育大学 あべ たかゆき
大学院 教授 阿部 隆幸 先生

阿部隆幸先生は、日本学級経営学会共同代表理事、NPO法人授業づくりネットワーク副代表を務められ、「授業づくり」と「学級づくり」における優れた実践研究者として、講演・セミナー等において全国各地で活躍され、著書も多く執筆されています。

今回は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学級経営について学ぶ研修会です。

6/20 (木)

14:00 ~ 16:30

会場：山梨県総合教育センター

※中止等の連絡は総合教育センターホームページ上に掲載します。

集合研修 / オンライン参加

一般留学生について

□令和7年度一般留学生の募集について

募集要項は、8月下旬に本センターのウェブサイトへアップするとともに、各校に文書でお知らせします。9月に願書受付、10月に選考検査実施予定です。応募をお待ちしております。

□一般留学生とは・・・1年間の山梨県総合教育センターへの研究留学です！

各自の研究課題に基づき、センター内及び所属校にて1年間十分研究することができます。

- ・担当指導主事、支援グループ、研究協力員が研究を全面的にサポートします。
- ・国及び県の教育施策や教育課題等について考える研修会や講話会により、幅広い視点・知識を身に付けることができます。

令和6年度 一般留学生 河口湖南中学校 小森 麻美 先生

中学校英語科における「話す力の向上」を目指し、研究に励んでいます。学校現場で感じていた自分の実践課題としっかりと向き合い、課題解決のためにじっくりと考えることができます。また、様々な校種・教科の指導主事や県内の英語科の先生方が研修や研究をサポートしてくださり、多くの学びを得ることができます。



YAMANASHI PREFECTURAL
EDUCATION CENTER

編集発行
山梨県総合教育センター
山梨県笛吹市御坂町成田1456
電話 055-262-5571
Fax 055-262-5572
発行責任者 所長 天野 信一
発行日 令和6年5月27日

総合教育センターだより

139号 令和6年5月発行 山梨県総合教育センター

令和6年度のスタートにあたって
所長 天野 信一



令和5年6月「第4期教育振興基本計画」が閣議決定されました。2つのコンセプト「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げ、将来の予測が困難な時代において教育政策の進むべき方向性を示す羅針盤となるべき総合計画となっています。山梨県・山梨県教育委員会においても、これを参酌し、令和6年3月に「山梨県教育大綱（山梨県教育振興基本計画）」を策定し、「主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり ～誰もが教育の機会にアクセスできるやまなし～」を基本理念に掲げ、計画を推進していくことになりました。山梨県教育の目指す方向性として、「未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進」、「誰もが可能性を伸ばせる教育の推進」、「教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進」、「学校を取り巻く教育環境の整備」の4つの基本目標と11の基本方針が示されています。これらの推進にあたっては、総合教育センターの果たすべき役割は非常に大きくその重要性を深く認識しています。

ICT教育支援センターにおいては、「教育DXの推進」を図るため「令和の日本型学校教育」の構築に向けて、ICTの効果的な活用とICT活用指導力の向上を目的とした情報教育に関する研修を企画・運営し、学校訪問を通じてICT活用の推進を図るとともに、教育用デジタルコンテンツの収集・開発・発信を行ってまいります。さらに、本県のICT教育を一元的に管理することで、教育の情報化を支援していきたいと考えています。また、令和6年度になり、相談支援センターにおける電話相談体制をこれまでの「いじめ・不登校ホットライン」から「やまなし子供SOSダイヤル」へと名称を変え、「子供の発達相談ダイヤル」や「面接相談受付ダイヤル」も加えさらに充実させました。いじめ・不登校・ヤングケアラー・発達に関する相談等、児童生徒や保護者、教職員のみならずからの悩みについて一緒に考え支援して参ります。そして、教育環境の変化に伴う新たな試みとして、本センターに初任者のためのアドバイザーを配置しました。初任者個々が抱える「悩みや課題」に対する指導助言を行うことにより、精神的な個別支援を行い、初任者の資質向上を図るとともに早期離職の防止に努めることを目的としています。

このように本センターでは、「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」を基本方針とし、「やまなし教員等育成指標」に基づく教職員の資質・能力の向上、学校教育における課題解決に向け、様々な研修、研究、相談、開発及び普及啓発に関わる業務を推進して参ります。学習指導要領が目指す教育の姿が、学校現場において具現化されるように、「子供たち、先生方、学校のために何ができるか」を常に考え、山梨教育の「知の拠点」としてのシンクタンク機能を一層充実させるよう、関係教育機関との連携・協力を図りながら、所員一同、力を尽くして参る所存です。今後とも、本センターへのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研修指導課

令和6年度の研修について

令和5年3月に改定された「やまなし教員等育成指標」を受け、「学び続ける教員」を支援し「新たな教員研修（探究型研修）」を具現化できるよう、今年度も研修の充実に努めてまいります。加えて、教育公務員特例法の改正により、教員の研修履歴の記録が昨年度より義務付けられました。それに伴い本県においても「研修MyPage」のシステムを構築し、研修履歴が記録できるようになりました。先生方の学びの履歴をもとに管理職の先生方との面談や先生方それぞれの研修履歴の記録がよりスムーズに行えるよう、皆様のお声を反映しながら引き続きシステムを整えていきたいと考えています。

今年度も本センターにおける研修会への積極的な参加をお待ちしております。

今年度の法定（必修）研修の中から、次の2研修について主な変更点・注意点をお伝えします。

■初任者研修

今年度も2回編成の開催となります。例年と異なる点は、初任者研修の受講記録の提出が基本的に複数回の研修で1枚に記入する書式となり、本センターホームページのキャビネットにPDFにして提出するという方法に変わったことです。研修で身に付けてほしいことは例年通りしっかりお伝えし、事務手続きは一部簡潔にすることで負担を軽減します。

■5年経験者研修

今年度より研修日程の一部を2回編成とします。また、令和2年度の採用者から対象となる「ソフォモア研修」の成果発表会も、令和7年度から始まります。令和2年度採用の先生方でソフォモア研修の対象となる方は、今年度末までに1.5日分のソフォモア研修を受講する必要がありますので、ご準備をお願いします。

調査研究課



1 研究支援

総合教育センターは、山梨県の教育の「知の拠点」としてシンクタンク機能の充実を目指し、学校教育の研究支援を行っております。

「新しい時代の学校教育の実現への総合的な支援の充実に向け一求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導、校内研究の在り方」を研究テーマとし、「授業づくり・学校づくり」「情報教育」の二つの研究領域において、本センターの指導主事がチームを組織し、「研究推進校（総合教育センターによる校内研究支援対象校）」とともに共同研究を行います。

また、相談支援センターでは、学校現場からのニーズや相談支援センターとしての専門性を踏まえ、「教育相談」「特別支援教育」「教育支援」の領域において独自研究を進め、情報を発信していきます。

さらに、山梨大学とも連携し、各種学力調査の結果の共同分析・共同研究を推進することで、授業改善を中心とした研究支援を行います。

【令和6年度研究領域・研究推進校】

Ⅰ 授業・学校づくり研究領域	鳥沢小学校（2年次）
	都留第一中学校（1年次）
	楡形中学校（データ分析WG協力校 1年次）
	上野原高等学校（1年次）
Ⅱ 情報教育研究領域	都留高等学校
Ⅲ 相談支援センターによる独自研究	教育相談／特別支援教育／教育支援

2 学力調査の実施・分析

全国学力・学習状況調査や山梨県学力把握調査等、各種調査を実施し、結果から児童生徒に身に付いている力やつまずき等について分析し、小中学校や関係機関に対して分析の概要や授業改善のポイントについて資料を提示します。また、授業の改善・充実に向けた説明会を開催することで、児童生徒の学力の向上や教職員の資質・能力の向上を推進します。

今年度の研究の成果については、令和7年2月26日（水）の「総合教育センター研究大会」において、研究支援に関する研究発表及び参加者によるグループ協議を行う予定です。

また、研究紀要を作成しホームページに掲載します。

なお、過年度の研究紀要はホームページにて閲覧することができます。

相談支援センター

相談支援センターでは、相談・研修・研究を通して、子供たちの健やかな成長を支援していきます。学校関係者への支援としましては、電話による相談だけでなく、ケース会議への参加や校内研究会等への講師派遣も行っております。

児童生徒・保護者の皆様には、電話や面接での相談を行っております。お気軽にお問い合わせください。

《学校関係者の皆様》

教育相談担当：055-262-5904

不登校やいじめ、友人関係に関する相談、校内研の講師などを行います。

特別支援教育担当：055-263-4606

特別支援学校への転入学、子供の発達に関わる相談、校内研の講師などを行います。

教育支援担当：055-262-6801

県内のSC、SSWの皆様や市町村の教育支援センター等への支援を行います。

《児童生徒・保護者の皆様》

■教育相談

お子さんの悩みや心配ごとに関する相談窓口

☎電話相談：☎ 0120-0-78310（やまなし子供SOSダイヤル）
365日24時間 受け付けます。

☎面接相談：☎ 055-267-5887 平日 午前9時～午後5時
※事前に電話でご予約ください。

■子供の発達相談

お子さんの発達に関する相談窓口

☎電話相談：☎ 055-267-8235 平日 午前9時～午後5時
☎面接相談：☎ 055-267-5887 平日 午前9時～午後5時
※事前に電話でご予約ください。

ICT教育支援センター

■ICT教育支援センター

本センターは、山梨県教育委員会のICTに関するほとんどの業務を扱い、山梨県のICT教育を一元的に管理することにより、教育の情報化を推進・支援しています。

各校で取り組んでいることや取り組もうとしていること、更に、ICT機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問にも随時対応しております。校内研修や研究会においてもICT教育支援センターを活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

ICT教育支援センター TEL：055-262-5508

■ICTの利活用及び情報教育の推進に向けて

「令和の日本型学校教育」の構築に向けて、ICTの効果的活用とICT活用指導力の向上を目的とした研修及び実践的研究を推進していきます。また、学校訪問等を通してICT活用を図るとともに、教育用デジタルコンテンツの収集・開発・発信を行います。ICTを活用して学校教育の質の向上を図るため、大学等と連携して山梨県の教育の情報化を支援します。

- ①教育活動におけるICT活用を推進し、ICTを効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの実現を支援します。
- ②教職員のICT活用指導力の向上に向け、研修内容の充実と実践的な研究に取り組みます。
- ③教育用デジタルコンテンツの収集や開発に取り組み、教育情報の提供を行います。
- ④グループウェア、教育情報ネットワーク、校務処理システム、旅費・休暇システム等の運用管理（ヘルプデスク業務）、相談業務を行い、業務の効率化を支援します。
- ⑤各学校における情報教育担当者やネットワーク担当者等の養成研修をはじめ、情報教育に関する相談業務等を通して、教育の情報化を支援します。

■ホームページについて

①「やまなしeラーニング（YeL）」について

研修の効率化と充実、受講の利便性を図ることを目的に、YeLを運用しています。校内研修や自己の研修にも利用可能です。

②「ICT利活用推進」ページについて

ICTの利活用に関する情報をまとめています。〔基礎基本編〕〔ツールの使い方編〕〔授業等での活用・実践編〕の3つの項目に分けて、情報提供をしています。

本センターのホームページを、是非一度ご覧ください。